

ロボットスーツHAL導入のお知らせ



ロボットスーツHAL®福祉用は、装着する人の「意思」を感知して立ち座りや歩行動作をアシストする画期的な自立動作支援ロボットです。

HALは、人が動こうとする際に皮膚表面に流れる微弱な生体電位信号を身体に取り付けたセンサーが感知し、コンピュータ制御によって各関節のモーターを適切に稼働させて装着者をアシストします。

当センターでは、平成24年7月から「短期集中リハビリ入院」を受け付けています。

1 対象者

どのような人が対象か？

- 立ち座りや歩行動作に不自由を感じる方
- 下肢の筋力が低下している方

対象外の人とはどんな人か？

- 著しい下肢の関節障害（強度な変形、炎症、脱臼など）
- 心臓ペースメーカー装着者、妊娠中の方
- HALを装着することができない体格の方や、その他医師が不適格と判断する症状を有する方

2 入院の流れ

はじめに外来でHAL担当医の診察を受け、HAL装着の可否を判定します



4週間の入院 : HAL装着訓練又は理学療法（1日最大2時間）

3 注意事項

- ロボットスーツHALの装着の効果、装着訓練内容には個人差があることをご了承ください。
- 通常の入院料、リハビリテーション料は算定されますが、HALを使用することで追加料金がかかることはありません。

4 お問い合わせ

奈良県総合リハビリテーションセンター 医事課

TEL 0744-32-0200